

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024年4月10日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 140-0001

所在地 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー9階

評価機関名 株式会社 医療福祉経営研究所

認証評価機関番号

機構 07 - 180

電話番号 03-5422-7938

代表者氏名 薄井 照人



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	久保田 義徳	経営	H0802014
	②	新井 結花	福祉	H0802032
	③	金子 晴子	福祉	H0803032
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	春明保育園			
事業所連絡先	〒	154-0021		
	所在地	東京都世田谷区豪徳寺1丁目25番18号		
	TEL	03-3420-5735		
事業所代表者氏名	陽田房蔵			
契約日	2023年 11月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023年 12月 1日			
利用者調査結果報告日	2024年 1月 31日			
自己評価の調査票配付日	2023年 11月 11日			
自己評価結果報告日	2024年 1月 31日			
訪問調査日	2024年 2月 8日			
評価合議日	2024年 2月 8日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は無記名式のアンケート調査を実施し、記入した調査票は専用封筒にて直接評価機関に返送していただきました。 ・職員の自己評価では、オリジナルの回答シートを用意し、階層別の評点分布だけでなく、より問題点を特定しやすいように集計結果をまとめて、事業所に報告しました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024年3月25日

社団法人 春明会

事業者代表者氏名

理事長 陽田房蔵

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)養護と教育の調和のとれた保育を目指します。 2)子どもの安全・安心な環境づくりに努めます。 3)保護者、地域の子育て支援に努めます。 4)地域との連携強化に努めます。 5)情報公開に努め、開かれた園運営を目指します。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>①子どもの存在を丸ごと信じよう。②子どもに真心を以って接しよう。③子どもにとって嬉しい存在になろう。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>①子どもの存在を丸ごと信じよう。②子どもに真心を以って接しよう。③子どもにとって嬉しい存在になろう。</p>

調査対象

調査は世帯単位で実施。回答者のうち、記入者の年齢が、20歳代2%、30歳代54%、40歳代以上36%、無回答8%です。

調査方法

調査票等は利用時に事業所経由で配布する形をとりました。回収は返信用封筒に調査票を入れ直接評価機関に郵送する方法をとり、利用者が気兼ねなく書けるよう配慮しました。

利用者総数

75

利用者家族総数(世帯)

72

共通評価項目による調査対象者数

72

共通評価項目による調査の有効回答者数

52

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

72.2

利用者調査全体のコメント

・総合的な感想において、64%の方が「大変満足」、33%の方が「満足」と回答しており、高い満足度が示されました。
 ・個々の質問に対する回答状況を見ると、17問中11設問で90%以上、4設問で80%の方が「はい」と回答しています。個々の取り組みについても高い満足度が示されました。
 ・自由記述では37世帯から率直な意見が寄せられており、「とても素敵な保育園です。園長先生が朝と帰り、一人ひとりに丁寧に挨拶をしてください。他の先生方も大変優しく、いつも親身に保育してくださっているのが伝わります。」「どの先生も子どもの気持ちを大切に、関わってくれていることが感じられ、安心して通わせられます。子どもに注意する際も、人格を否定するような乱暴さはなく、きちんと伝えて叱ってくれています。」といった肯定的な意見が多数ありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	50	2	0	0
「はい」と回答した方は96%と非常に高い満足度が示されており、「日本の伝統や季節行事・季節を大切にしてお話や活動が多く、素敵だな」と思っております。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は4%です。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	50	2	0	0
「はい」と回答した方は96%と非常に高い満足度が示されており、「わらべうた、英語、体操など家に帰ってからも楽しそうに話をしてくれます。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は4%です。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	49	3	0	0
「はい」と回答した方は94%と非常に高い満足度が示されており、「保育士体験をさせていただき、喫食させていただきましたが、とても美味しい給食でした!!野菜も園児の食べやすいサイズに切られていて、家で食べられない食材も園の給食だと頑張って1口食べているようです。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は6%です。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	39	10	3	0
「はい」と回答した方は75%と満足度が示されており、「ビオトープや屋上菜園も魅力の一つかと思います。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は19%です。「いいえ」と回答した方は6%です。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	44	2	2	4
「はい」と回答した方は85%と高い満足度が示されており、「急な時間延長も対応して頂き、申し訳なく思うと共に、とても感謝しています。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は4%です。「いいえ」と回答した方は4%です。「無回答・非該当」の方は7%です。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	49	3	0	0
「はい」と回答した方は94%と非常に高い満足度が示されており、「セキュリティがしっかりしている印象です。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は6%です。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	48	4	0	0
「はい」と回答した方は92%と非常に高い満足度が示されており、「土曜日に運動会や発表会があり、参加しやすいです。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は8%です。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	51	0	1	0
「はい」と回答した方は98%と非常に高い満足度が示されており、「先生たちはとても親身になって話をしてくれるし、子どものことについても否定せずに接してくれていると感じられ信頼できる。」といったコメントが寄せられています。「いいえ」と回答した方は2%です。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	51	1	0	0
「はい」と回答した方は98%と非常に高い満足度が示されており、「良く整理されている印象です。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は2%です。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	4	0	0
「はい」と回答した方は92%と非常に高い満足度が示されており、「どちらともいえない」と回答した方は8%です。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	49	2	0	1
「はい」と回答した方は94%と非常に高い満足度が示されており、「細かなことでもすぐ報告してくれて、安心できる。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は4%です。「無回答・非該当」の方は2%です。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	44	5	0	3
「はい」と回答した方は85%と高い満足度が示されており、「どちらともいえない」と回答した方は9%です。「無回答・非該当」の方は6%です。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	51	1	0	0
「はい」と回答した方は98%と非常に高い満足度が示されており、「クラスの人数が多いながらも、子どもの話をよく聞いてくれていると思う。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は2%です。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	47	2	0	3
「はい」と回答した方は90%と非常に高い満足度が示されており、「園の掲示物を撮影する際、職員の下承をもらうようにしていますが、毎回「SNSにはアップしないですね？」といった確認をされており、プライバシーへの配慮を感じる。」といったコメントが寄せられています。「どちらともいえない」と回答した方は4%です。「無回答・非該当」の方は6%です。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	46	5	1	0
「はい」と回答した方は88%と高い満足度が示されており、「どちらともいえない」と回答した方は10%です。「いいえ」と回答した方は2%です。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	4	1	5
「はい」と回答した方は81%と高い満足度が示されており、「どちらともいえない」と回答した方は8%です。「いいえ」と回答した方は2%です。「無回答・非該当」の方は9%です。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	36	8	2	6
「はい」と回答した方は69%となっており、「どちらともいえない」と回答した方は15%です。「いいえ」と回答した方は4%です。「無回答・非該当」の方は12%です。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリ1の講評	
	理念等園が指すものは園内・外ともに目にする頻度の高い状態で発信されています 法人経営理念、保育理念、保育方針・目標、職員行動指針は園玄関と全クラスに掲示されています。加えて、クラスには卒園までに育てたい資質・能力や育てたい10の姿など、さらに具体的な保育目標・スローガンも掲示があります。ホームページ、パンフレットなど外部向け媒体の冒頭にも明示され、さらに毎年全職員に配布している「職員の心得」には上記の理念・目標・方針等の他、倫理や守るべき法令も整理されています。毎月発刊する園だよりにも明記されています。園内随所にある掲示の他、発行するほぼ全ての媒体にも明記されています。	
	理念、方針のさらなる浸透に向け課題の共有を起点としたリーダーシップも期待されます 理念・方針は園が取り組むべき永遠のゴールであり、それらを繰り返し発信し目的地を明示するリーダーシップはあります。一方、それらを目指す道程で出現する多種多様な課題を園が目指すゴールに照らして目標化し、職員と共有し共に解決に取り組むリーダーシップも期待されます。共に取り組むことで、相互の信頼関係も醸成され、職員が保有する能力をさらに発揮できる状態も導き出されます。また、困難な課題は一朝一夕には解決しません。困難な課題こそ継続性のある改善活動が求められますが継続性を組織に維持させることこそ渴望されるリーダーシップです。	
	情報共有の効率性、組織的な意思決定のさらなる透明化に向けた工夫が望まれます 現在、園では定期開催も含め10数種類の会議が行われていますが、少なからず参加メンバーが重複している会議もあります。組織運営のさらなる効率性改善に向け、意思決定プロセスの可視化とICTの活用が期待されます。各会議それぞれの役割、取り扱う案件や議案の重要度、組織運営系のもの、専門的な内容の会議等の整理統合を、情報共有ではICTの活用による会議時間の短縮化などの工夫が望まれます。組織図同様に、各会議の定義と扱う議案内容、会議相互の関係を可視化することで「何をどこで」協議するかがわかり業務改善の礎にもなります。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当

カテゴリー2の講評

事業計画は保育目標(理念・方針)達成を重層的に支える設計へと見直しが期待されます

現在の中期計画は保育のみに特化したものですが、それらを高いレベルで達成するには、支える人材の質向上、組織運営の改善や財務面での課題解決も必要になります。令和6年度からの中期計画では保育、人材、組織運営、財務の4つの視点で可視化することが望まれます。保育目標の達成を支える人材育成をどうするか、達成に相乗効果を出す組織運営、体制の見直しやそれらを実施するための収支目標数値化など、各目標が相互に関連し保育目標達成を重層的に支える設計へと見直しも望まれます。4つの視点の相互のバランスが目標実現可能性を向上させます。

理念・方針を可視化した事業計画は中期計画と単年度計画の関連付けが期待されます

3か年の中期計画と単年度計画相互の関連性・つながりが弱い状態にあります。理念・方針は園にとって永遠の目標ですが、それを近未来の目標・道標として可視化したものが中期計画であり、さらに単年度の取り組み目標として具体化したものが単年度計画になります。最終ゴールと現状のギャップが大きい目標達成には、より多くの人員による長期間に渡る取り組みが必要となります。全員参画による組織的な継続性を担保するため中期から短期へと目標達成に向けた計画を道標として示し、職員全員が目標達成に向け目的と手段を共有することが期待されます。

理念の浸透と組織目標への全員参画に向け単年度計画と個人目標の連鎖も望まれます

人事考課の目標管理制度の運用も3年経過しました。今後は個人目標の設定で園の単年度計画との連鎖が望まれます。理念・方針の維持・実現のため中期、単年度で可視化された目標を実現に向けて日々取り組むのは職員各自です。個人の成長が園の目指すベクトルに沿うことで園の成長にもつながります。園で取り組む目標に照らして職員各自で自ら自分の取り組み目標を考える作業こそ理念のさらなる浸透と理念実現に向けた行動の実践につながります。また、上司・部下でレベルは違えども同じベクトルの目標をもつことで日常業務の中でのOJTも機能します。

カテゴリ-3

3 経営における社会的責任

サブカテゴリ-1(3-1)

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **2/2**

評価項目1
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当

サブカテゴリ-2(3-2)

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1
利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当

評価項目2
虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリ-3(3-3)

地域の福祉に役立つ取り組みを行っている サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 **5/5**

評価項目1
透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

人権擁護、守るべき倫理・規範について継続的な取り組みがあります

園の理念・方針の他、勤務するうえで必要な9つの関連法規（「子どもの権利に関する条約」、「児童憲章」等）が「職員の心得」にまとめられています。心得は、毎年度内容が更新され年度当初に配布、説明されています。人権擁護の取り組み状況では「子どもの人権チェックリスト」を使って年4回自己点検が実施されています。実施後は毎回クラスごと、園全体で振り返りを行い結果もまとめられています。さらに、今年度から「適切保育統括」という担当を決め配置しました。毎月の保育会議の時間を利用して事例検討やグループワークを実施しています。

利用者の意向を把握し対応する体制があります

苦情解決制度は、重要事項説明書に記載があり、入園の際にも説明があります。園玄関にも苦情受付担当者、責任者、第3者委員など園の窓口と東京都、世田谷区などの行政の窓口についての掲示もあります。保護者等からの苦情・相談は、玄関靴箱の上に設置された「ご意見箱さくら」に寄せられ、回答が掲示されています。様々な意見・苦情は、その内容に応じて経営会議、幹部会議、職員会議やリーダー会議を通じて検討・全職員が共有しています。重大かつ優先順位の高い事案については、緊急会議を招集し解決が図られています。

地域防災への貢献を通じた交流・連携が維持されています

地元商店会をはじめ町会との交流も深く、地域との合同防災訓練では園庭を開放し実施しています。また、有事の際には園庭に掘削した井戸水も地域に提供する体制があります。区の園長や地区の園長会、子育て支援ネットワーク会議等、理事長、園長を中心に定期的に参加しています。さらに、園の班活動の一つに「地域活動班」があり、実施する行事の中では、保育士、看護師、栄養士による相談にも応じており、地域の子育て支援活動にも、職員が参画する活動にもなっています。法人の経営理念の一つ「地域支援に努めます」の組織的実践と言えます。

カテゴリ-4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>事故予防について組織的取り組みがあります</p> <p>ヒヤリハット報告は、気づき次第、各部署に配備された端末でそれぞれデータ入力されていますが、報告数は月平均40件以上に上っています。そして、それらの結果は定期的に集計され、事故が発生した場所を円グラフ化し、一目で分かるよう可視化しています。また、事故・ヒヤリハットの発生数は、転倒・転落、誤嚥等事故の内容別の件数を月ごとに棒グラフ化しています。さらに、「事故・ヒヤリハット一覧表」にも可視化されています。園の保育方針の一つである「子どもの安全に努め、子どもが安心して遊べる環境を提供します」の組織的な行動です。</p> <p>安心、安全な保育、地域支援活動と理念への具体的行動があります</p> <p>自然を大切にする取り組みに関連する外部団体におけるネットワークを通じて、岩手県及び福岡県の保育園と締結した「防災協力協定」を継続しています。台風や大地震等の大災害が発生した際に、生活や園の保育に必要な物資を相互に支援する活動です。実際に、東日本大震災や九州を襲った豪雨でも支援物資を提供する実践がありました。また、園庭に掘削した井戸水は、有事の際に園の保育をいち早く再開するためだけでなく、近隣地域へも提供する準備があります。法人の経営理念「地域支援に努めます」について、遠隔地まで地域支援の視野を広げています。</p> <p>園で取り扱う情報を管理する全体設計図、管理ルールの作成が待たれます</p> <p>昨年後半から運用を始めたシステムは、今年に入り本格運用となりました。それにより旧来、文書等アナログ形式で取り扱っていた情報のうちのいくつかは、データによる管理・運用へと展開されつつあります。今後は、管理・運用する媒体が分化されることにより、紙・電子媒体とも、管理が煩雑になる懸念があります。各情報についての機密度や緊急度、発信頻度や管理方法(管理権限・責任・管理場所)等の可視化が望まれます。なお、情報は機密保持だけでなく、情報共有の視点からも園のどの情報を職員、保護者、地域に発信するかの可視化も期待されます。</p>		

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の標準項目実施状況

12/12

評価項目1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

3/3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に
取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-5の講評

人事考課制度における個人目標と園の単年度事業計画の目標との関連付けが期待されます

人事考課制度について、評価シートはキャリアパスを起点に職種、等級・年数別に期待する役割・行動や保有してほしい能力等で設計され、目標評価とセットで運用されています。目標評価は、その年の個人目標は本人と上司で相談して確定していますが、今後は園の単年度事業計画に掲げた目標に連鎖した内容とし、園の目標と職員各自の個人目標との連鎖が望まれます。園の事業計画を職員各自がそれぞれ読み解き、自らその目標に対して今年一年何に取り組むかを自主的に考えること自体が、理念の理解・浸透、全員参画の経営への第一歩につながります。

働きやすさに配慮した継続的な取り組みがあります

駅至近という立地から通勤のし易さに加え、年次有給休暇取得についての配慮をするなど現場を支える職員各自の様々なライフスタイルに合わせて働けるよう取り組みがあります。特別休暇制度の拡充や職員互助会の設置の他、ICT化の実現など職員の声をもとに福利厚生充実や業務改善等も実施しています。研修の機会も数多く確保されています。保育業界全体として人材不足が叫ばれる昨今、職員の離職が少ない傾向が維持されています。それら複合的な取り組み、とりわけ職員の声をもとに判断・実践していることがその結果をもたらしているとも言えます。

園内外の各種研修が充実しています

法人理念に掲げる「職員の質向上と園の専門性向上に努めます」とおり、職員研修は園内実施のものと園外実施のもので毎月(年間で52研修を実施)頻度高く実施されています。受講に際してもシフトを調整するなど参加しやすい工夫もあります。内容はキャリアアップや階層別、保育、給食、医療等の専門的なものまで、組織運営・人材育成面のバランスもとれています。受講者は研修報告書を提出し、閲覧や会議での報告も行い共有化も図られています。今年度は特に適切な保育展開のさらなる向上を目指し、専任担当職員を設け、人権研修の充実もあります。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

3か年の「保育運営における中期計画」の中間年度でもあり、最終年度の令和5年度に向かい、さらなる組織運営の活性化のために職員一人ひとりが自身のキャリアに対する認識を高め、意欲の向上も図るため、人事考課制度(目標管理)で職員各自の業務目標を設定しました。制度は正職員全員が実施しました。

目標の設定と
取り組み

- 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
- 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった
- 具体的な目標が設定されていなかった

取り組みの検証

- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
- 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

検証結果の反映

- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
- 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない
- 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

人事考課制度の運用は実施手順に則り、4月・5月には対象職員が各自の業務目標を設定、翌1月～2月末までリーダーによる個人面談を実施しました。考課結果は賞与にも反映させることが出来ました。一方で、職員の意欲向上に偏りも見られることから、次年度以降も公正かつ正確な結果が集まるよう制度設計・運用上の課題を是正したいと思われています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

世間での不適切保育に関連する報道の増加を踏まえ、園ではさらなる保育の質向上と安全面の一層の向上の為、組織機能の再強化として人材の適正配置を実施しました。乳児と幼児それぞれのマネジャーを育成的観点からキャリアの浅い職員に転換しました。さらに、保健部強化のため看護師をリーダーの一人に加えました。また、職員育成の観点から、人事考課制度における考課面接の場を活用しました。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

人事考課制度の運用も深まり、特に自己評価について自身を客観的に振り返ることで、それぞれ個としての成長に意識が高まってきました。また、組織構成員の見直しにより、これまでと着眼が変わったこともあり不適切保育や虐待防止に対する認識、子ども一人ひとりの人権の大切さなどの認識も高まってきました。さらに、今年度は「適切保育統括」という担当職員を新設し、当該職員のリードによるグループワークを通年で実施しています。人事考課面接のさらなる充実では、各自のキャリアに沿った目標設定と支援を通じてさらなる質向上を図る予定です。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
サブカテゴリー1の講評		
<p>リニューアルしたホームページで当園の取り組みを発信しています</p> <p>当園の情報発信のツールとしてホームページがあります。法人理念や保育理念、保育の方針が示され、「子どもたちが、それぞれに自分の目を息吹かせられるように大人は、豊かで、あたたかい土でありたい」というメッセージも掲載されています。その他、園だより、給食だより、献立、保健だよりを見ることができ、子育て支援の取り組みも紹介されています。このホームページはリニューアルしたばかりなので準備中のページもありますが、これから園を利用したいと考えている地域の子育て家庭にも有効な情報が網羅されています。</p> <p>園から利用希望者に対して伝えたい内容が丁寧に掲載されたパンフレットがあります</p> <p>当園のパンフレットは淡い色合いで優しいイラストを用いて作成した温かな雰囲気を感じさせる一冊です。保育理念、保育の方針、保育目標、私たちは行動しますと記載した行動指針、地域交流について、一日の生活が時系列でトップページに記載され、年間行事、食事の他、保育の特長の一つである体操・英語で遊ぼう・わらべうたについて、施設概要など写真とイラストを効果的に用いてわかりやすく作られています。また、「保育園ってどんなところ？」と題してQ&Aもあり、園から利用希望者に対して伝えたい内容が丁寧に掲載しています。</p> <p>見学者への対応は常勤職員は皆、対応できるようにしています</p> <p>見学会の日程をホームページで知らせており、毎週土曜日を中心に見学説明会を開催していますが、8月から11月については月2回、平日でも対応しています。見学の際はパンフレットを渡して園内を案内します。その際、保育室内の環境などを伝えるとともに、地震の際、保育室内で安全確保できる場所を示している「あんぜんジャー」の取り組みやホールの利用方法、園庭のことなど当園の特長を伝えています。見学者への対応は常勤職員は皆、対応できるようにしており、特に勤続10年以上の職員が担当するようにしています。</p>		

サブカテゴリー2

2 サービスの開始・終了時の対応

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

6/6

評価項目1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

評点(000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当

評価項目2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

評点(000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当

サブカテゴリー2の講評

園長、保育士、看護師、栄養士がそれぞれの担当分野に関して説明・確認しています

入園が決まると、必要書類を保護者に渡して準備を進めていただき、入園前健診を園医のところを受けていただきます。その結果を持参して入園前面接を行い意思確認をしています。面接では、園のしおり(重要事項説明書)と提出していただいた児童票の記載内容を基にヒアリングを行います。園長からは園の方針を、保育士、看護師、栄養士がそれぞれの担当分野に関して説明・確認しています。面接の際は保護者の意向を丁寧に聞き取り、必要に応じて家庭環境に関する調査書に記録して職員間で共有しています。

新入園児は6日から10日を目安として「特別保育」の期間を設けています

新入園児は子どもと保護者の就労状況を確認した上で6日から10日を目安として「特別保育」の期間を設けています。子どもが安心できる環境を作ることを目的として基本は担任の職員が担当して対応しています。乳児に関しては、入園1日目に保護者に保育体験として半日子どもと一緒に過ごしていただきます。園で行う保育の流れと状況を保護者に知ってほしいという意図があります。進級児についても保育室での活動は3月いっぱい変わりませんが、新しいクラスに馴染めるよう、そのクラスに遊びに行く機会を持つようになっています。

感染防止対策を講じつつ、小学校や近隣の園との交流を再開しています

コロナ禍では就学先の小学校や近隣の園との交流ができない状況にありましたが、新型コロナウイルスが2類から5類への移行を受けて、感染防止対策を講じつつ、小学校や近隣の園との交流を再開しています。小学校から案内が届き、展覧会を見に行くことができました。就学に向けて子どもたちが準備をすることができています。転園する家庭や卒園後も必要に応じて情報共有も行き、子どもも保護者も安心して次のステージに向かうことができるよう努めています。

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況

13/13

評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	○非該当

評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄り等話し合う機会を設けている	○非該当

サブカテゴリ3の講評

他クラスのねらいも共有できるよう月案の全体共有に取り組むことも期待されます

全体的な計画を基に作成する年間指導計画は変更点を赤字にすることで確認しやすくしています。これまでの保育システムから保育アプリに変更したことにより、各計画の様式も変更されています。その中で年間指導計画は年間の評価・反省を記述する欄はありますが、期ごとの評価・反省を記載する欄がないため、期ごとの見直しの記録を残す工夫が必要と推察されます。月案についてはどのクラスの内容もアプリ内での確認はできませんが、異年齢保育を積極的に取り入れているため、他クラスのねらいも共有できるよう取り組むことも期待されます。

乳児は子ども一人ひとりに合わせた保育ができるよう、丁寧な個別月案を作成しています

乳児に対する個別月案は、子ども姿、養護、教育、環境構成、食育、保育に対する自己評価(養護・教育)の項目で作成しています。乳児期の子どもの成長は個性が高く、その成長を細かく把握して子ども一人ひとりに合わせた保育ができるよう、丁寧な個別月案を作成することにより職員間でもブレることなく保育が行えることを窺い知ることができます。月の振り返りも養護・教育を意識して記載できる書式のため、職員も子どもの様子を養護・教育に照らし合わせて見ていくことが可能となっており、保育の視点を確認することができる有効な取り組みです。

「〇月の伝言板」は保護者支援の一端を担う取り組みとなっています

毎月発行している「園だより」は、必ず園の保育目標(目指す子どもの姿)を記載しています。また、「〇月の伝言板」として、子どもの保育の視点を(適切な保育)として保護者に向けて発信しています。例えば、12月の園だよりには、「12月の伝言板」子どもの「自分でやりたい」を大切にしましょう(適切な保育)との記載から始まり、子どもの様子に照らし合わせてどのように子どもに対応すればよいかを掲載しています。「〇月の伝言板」は当園の保育の視点を伝えるとともに保護者支援の一端を担う取り組みとなっています。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>健康教育という項目を設けて園児・職員に対して実施する内容を看護師がまとめています</p> <p>年間保健計画の中に、健康教育という項目を設けており、園児・職員に対して実施する内容を看護師がまとめています。4、5歳児を対象に看護師からプライベートゾーンについて話しをしています。4、5歳児は着替えの時も男女別に分けて室内をマットで仕切り、着替えの順番を考えながら羞恥心を自ら学ぶことができるよう取り組んでいます。おむつ替えの場所も他の人から直接見えないように配慮しています。子どもが小さなうちから環境設定も配慮して対応しています。</p> <p>子どもの気持ちを尊重し、子ども同士が認め合うことができるよう取り組んでいます</p> <p>全国保育士会の「子どもの人権擁護チェックシート」を用いて、子どもに対する自身の対応を振り返る機会を設けています。子どもが生活してきた環境はそれぞれ違い、特に外国籍の家庭においては特に生活習慣などに違いがあります。その違いを子どもにもさりげなく伝え、見ただ目で判断するのではなく、子ども同士が認め合うことができるよう取り組んでいます。また、「あなたたちの運動会だから自分たちで決めてよい」ことを伝え、5歳児は運動会の種目について話し合いを行いました。子どもの気持ちを尊重するとともに主体性を育む取り組みです。</p>		

サブカテゴリー6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

5/5

評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(00)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当

サブカテゴリー6の講評

サービスの基本事項は保育をしながらも確認できる環境を整えています

研修・マニュアル班を中心に保育や保健、行事、危機管理やアレルギー児・熱性けいれん児対応などの各種マニュアルを作成しています。各種マニュアルは書庫に保管され、いつでも職員が閲覧できる状態になっており、委員会にて見直しを行っています。各保育室には、保育目標と行動指針が掲示されているため、サービスの基本事項は保育をしながらも確認できる環境を整えています。園が大切にしている理念・方針を浸透させることは有効な標準化の一つと言えます。

「保育士体験アンケート」で挙げた意見は保育の振り返りに有効であると推察されます

コロナ禍では休止をしていた保護者の保育士体験が今年度は実施できています。その際、「保育士体験アンケート」として、集団の中での子どもの姿を見てどう感じたか、家庭に戻られた時に子育てで参考にしたと思った点はありませんか？、子どもが日頃園で食べている給食についての感想、その他自由記述を書いていただいています。保育の現場で観た職員と子どもとの関わりを保護者の目にはどのように映ったのかという意見は様々な見直しや振り返りに有効なことと推察されます。保護者の意見も取り入れた取り組みが行われています。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36 / 36
サブカテゴリー4			
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>児童票・連絡帳・乳児の月のねらい指導計画等で子の姿を把握し保育を構築しています 児童票では入園前の家庭状況を記録化し、入園後は乳児は隔月・幼児は3ヵ月毎に発達・成長記録をし発達チェックも実施しています。乳児の連絡帳は、園・家庭欄があり子の一日の姿を記録化し保護者と連携を図っており、クラスミーティングで乳児は個別に前月の姿から月のねらいを立て保育を実践しています。定員80名で83名が在籍し0歳児9名・1歳児13名・2歳児16名、幼児クラスは15名・16・14名と集団として一人ひとりと丁寧に関わるので、その日の子の状態に合わせた保育を実践しています。</p> <p>幼児の異年齢保育では、保育士間で情報を共有し、子ども主体の生活を実践しています 園の特徴に幼児の異年齢保育を実施しており、今年度は幼児打ち合わせで集団生活・活動が多い中で活動内容やルールを職員間で共有し、室内・園庭遊びと子どもが主体的に遊びを選べる体制を作り、保育の中で実践しています。異年齢グループは、幼児を果物の名前で3グループに分け、ホールに子ども達の写真と共に掲示しています。自由活動時は3・4歳児室はオープンになっており机上遊びと、汽車・レール・ブロック等動的な遊びと分け、訪問時は絵描きや折り紙で輪飾りを制作する姿がありました。おやつはホールで3グループで食べています。</p> <p>個別に配慮が必要な子に職員で共通認識を図り、皆と成長できるよう援助をしています 個別に支援が必要な子は数名おり、療育に通所が3名で保育士の加配があります。通所後は保護者に子の様子を聞き情報共有をしています。個別に年間指導計画があり、月のねらい・個別記録・日誌を記録化しており、臨床心理士の巡回指導を年2回実施し午睡時に子への関わり方等の相談指導を受けています。幼児は月1回、支援児に同じ対応で援助が出来る様情報共有し、集団活動時は子の状況に応じ、トラブルが多い時は離れて保育士が付く等、異年齢保育ではクラスの枠を超えて友達と関わり、皆と一緒に成長出来る様援助しています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
◎あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>朝・夕の登降園時に職員が門で見守りを実施し、保護者の安心に繋げています 園は豪徳寺の駅から徒歩2分位で園庭の壁の後ろは駅のホームと交通の便が良いです。住宅に囲まれており安全対策で朝・夕の登降園時は職員が門扉に立ち、保護者・園児の確認や不審者対策をしています。受け入れ時は、乳児は連絡帳と週明けで病気だった時は家庭での様子を聞き、園からの連絡時の連絡先の確認をしています。また目視で顔色や傷の有無を保護者と確認し、乳児は園で検温を幼児は家で検温をしシール帳に記載しています。乳児は保育室前の廊下で保護者が支度し受け入れをしています。</p> <p>食事・着脱・排泄等、生活習慣が身につく様、子に合わせ援助しています 乳児は前月の子の姿から個別に月のねらいと指導計画を作成しており、子の発達に合わせ養護面では服の着脱や・手洗い・排泄等保育士は子の状況に合わせ援助しています。0歳児室は床暖房で広く、遊び・着替え・食事のエリアがあります。トイレトレーニングは、個々の状況・成長に合わせ、無理に誘わず家庭での様子を聞き2歳からトレーニングを始めています。乳児の月の個別のねらいを、家庭に提示し保護者と一緒に生活習慣が身につく様援助すると良いでしょう。</p> <p>お迎え時は連絡帳・幼児の活動ファイル・口頭で園での様子を保護者に伝えています 園は開園69年と歴史があり、延長保育は実施していませんが、入園希望者は多い現状です。お迎え時は担任が保護者に園での子の活動や、エピソード等を伝え連絡帳にも記録化しています。幼児は玄関の掲示用棚に保護者が見れるように幼児活動ファイルを閲覧しており、園からのお知らせ等はメール発信もしています。乳児幼児のボードがあり、早番・クラス名・個人名・体調等申し送り事項を記録し伝えられないよう職員がチェックをし情報共有をしています。</p>		

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもががまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

室内・園庭活動では好きな場所を選び遊べ静・動のバランス良く保育を実践しています

保育目標に・自ら考え、進んで行動のできる子を掲げており、乳児・幼児室はクラスの興味や発達に応じた玩具があり、ワゴンに玩具別の箱を置き、自由に取り出せます。活動時では2歳児も室内遊びと園庭遊びを選び好きな場所を自分で決め遊び込めるようにしています。園庭は、乳・幼児の遊ぶエリアを可動式の低い柵で仕切り安全面の配慮をしています。園庭には、砂場・固定の遊具・ベンチ・三輪車等やサッカーゴールがあり4・5歳児は活動時間をずらして思い切り遊べる様工夫をしており一日の活動は静・動のバランスが取れるよう保育を実践しています。

外部講師による幼児の・体操・英語・わらべうたは、子ども達の表現の幅を広げています

外部講師による幼児の体操は週1回、指導計画があり、マット・ボール・縄・巧技台と全身を使い運動遊びをし運動会には講師も参加しています。英語は月2回アメリカ人がクラス別に会話は英語で日本語も混ぜて歌カード遊び・絵本の読み聞かせや年長児は足し算、引き算も教えてもらい国際交流を図っています。わらべうたは、年6回全クラス別で保育士も一緒に実施し保育の中で継続しており、年齢により、手・指・触れあい、年長児はかごめやゲーム性のあるものを実践しています。どのプログラムも子ども達は楽しく参加し表現の幅を広げています。

生活を通して言葉の大切さや、園庭のビオトープ・植栽から自然や四季を体感しています

日々の生活の中や朝夕の集会の場面で保育士は、正しい言葉使いで丁寧な言葉で子ども達と関わっています。園外保育は、乳児は園周辺に出かけ電車を見たり小公園で自然に触れ、幼児は月2回位、徒歩で羽根木公園や近隣の公園に行きます。玄関に向かう途中に4年目のビオトープがあり、あけびの棚につるがつたわり、毎年トンボのやごが育ち、めだか・金魚を飼育しており網がかかっている時は観察したり、ゆず・みかんの木は毎年実をつけ幼児が収穫をし食育に繋げ、園庭や公園での虫探しから図鑑で調べ飼育に繋げ季節を体感しています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>発表会では、年長児は意見を出し合い子どもが中心で出し物を決め劇遊びを楽しみました コロナ時を機に行事の見直しを行い保育士主導ではなく、年長児は子ども中心に多数決で「エルマーの冒険」を決め、5月からクラスで読み聞かせをし3冊シリーズをオリジナルで一つにまとめ配役は担任が聞いて取り組み、作り物は子ども達のイメージで制作し背景は模造紙2枚に山・竜・エルマー等を自由に描き、発表会後も廊下に展示しています。日々の読み聞かせでイメージが子ども達の中で膨らんでおり、子ども達が主役で劇遊びを進め協力して発表会に繋げています。保育の場面で非認知能力が育つ様子子ども主体の保育を実践しています。</p> <p>運動会・発表会では、競技を通し皆でやり遂げる喜びを味わい自信に繋がりました 運動会は、子ども達の意見を基に玉入れ・リレーや親子競技・年長児は毎年恒例のソーラン節は、はっぴを着て踊り保護者に披露し4歳児は、年長になったら踊れるソーラン節に期待を持つ姿があります。発表会は幼児クラス入れ替え制でホールで劇遊びや、4歳児は「大きくなったら何になる」の手遊びで一人づつやりたい物を披露し保護者は2名までの参加で実施しています。練習から、当日まで期待を持ち子ども達のペースに合わせて皆で協力しやり遂げ自信に繋げており保護者に観てもらう喜びや成長の姿があり職員間も行事を検討した成果を確認しています。</p> <p>年間行事予定表・園だより・配信・掲示・アンケート等で保護者の協力を得ています 年間行事予定表は年度の初めに配布し、園だよりも月の予定を掲載しています。行事が近くなると、お願い事項等をクラスに掲示し協力を得ています。クラスだよりがないので、月のねらいや行事に向けての様子・クラスの取り組み等を保護者に伝えと良いでしょう。行事後のアンケートでは感謝の言葉が多く、行事の写真はプロに依頼し携帯で注文しています。利用者調査では前回の評価結果よりすべての項目の満足度は上がり、大変満足が多く、満足と合わせ利用者の満足度は非常に高く、保護者に園の理念・方針・保育内容が伝わっています。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕保育は乳・幼児に分かれ、ゆったり過ごし、延長保育は実施していません 延長保育は実施しておらず、今年度0歳児は12月まで自室でお迎えまで保育室で過ごし、1・2歳児は17時30分に1歳児室で0歳児も一緒になります。幼児は17時に片付け20分にホールに移動し、乳児も18時にホールで合同になります。ホールには、ブロック・絵本・パズル等の遊具が置かれており正規保育士2名とパート1名で保育をしています。お迎えのピークは18時前後で幼児は17時30分の時点で半数位です。合同保育時は幼児の存在が大きく乳児を思いやる姿や一緒に行動したり、乳児は幼児を慕う姿が見られお互いに心が育っています。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		○非該当
評価項目6の講評			
<p>幼児はホールで、時差をつけビュッフェスタイルで好きな場所で友達と食事をしています</p> <p>幼児は年間を通じ、3歳児から5歳児を3グループに分け、ホールで時差をつけビュッフェスタイルで食べていますが、年長は就学に向けての活動等でクラス別に時差でホールで食べており、3歳児はトレーを持ち、担任が一人ずつご飯・サラダの量の確認をし量を調整し米粉のカレー・ヨーグルトと子ども達の好きなメニューで友達に声をかけ好きなテーブルで個々に挨拶をして食べており、時差をつけているので落ち着いて食べています。2歳児から背持たれ無しの椅子を使用しており、姿勢を保ち食事や造形活動・話を聞く等生活に取り入れています。</p> <p>給食会議で喫食状況を把握し、食育指導や行事食は子どもたちが楽しみにしています</p> <p>10月に調理室の全面改修工事を行い、この間は業者の弁当で対応し離乳食・食物アレルギー食は調乳室を使用し提供し改修後は扉を全面ガラスにし調理の様子が見えます。献立は園独自で作成し天然のだしを使用し、離乳食・給食会議は栄養士・各クラス・園長・主任で喫食状況や味付け等を確認し2回目の献立に活かしています。栄養士作成の給食・食育年間計画は0歳児は離乳食初期から完了まで細かく作成しマナー・食具等を指導しています。子どもの日ははまきおこわ・クリスマスはミートローフ誕生会の日は手作りケーキと子ども達の楽しみがあります。</p> <p>屋上菜園の水やりやベランダで、野菜の栽培・収穫をし食育やクッキングに繋げています</p> <p>屋上菜園ではプランターで栽培知識のある職員が管理しトマト・きゅうり・なす・児玉すいか・さつま芋は12キロ等多種類の収穫があり子ども達は水やり当番や収穫体験をして食材にし、幼児はソラマメのさやをむきをしゆで汁にレモンを入れ汁がピンクになる実験や年長児はしそジュースづくり、1月は看護師が手洗い指導をし、おにぎりやクッキー・年長児はポップコーン・ゆでたまごの殻をむく等のクッキングの予定があります。今後は乳児も、野菜に触れたり皮むき等の体験をすると良いでしょう。職員も子ども達と一緒に食事をし食育指導に繋げています。</p>			
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		○非該当
評価項目7の講評			
<p>看護師を中心に健康・安全ジャーで教育を実施し、予防出来る様援助しています</p> <p>年間保健計画は看護師が全体的計画を基に作成し健康教育は4期に分け手洗い指導・飛沫の話をし、4・5歳児はクラス別に6月プール前にプライベートゾーンの話をし水着着用の男子・女子の絵をボードに貼り、隠れている部分を人に見せない等の話しをし、家庭で話が出ていると報告があり理解出来ています。9月のお月見会の団子作り時に4・5歳児はブラックライトで手洗いの確認をしました。安全教育は幼児保育室の天井から耐震構造の場に安全ジャーのキャラクターを吊るし地震時の集合場所にしており身についています。可視化でき良い取り組みです。</p> <p>個別にケアが必要な子に園医や専門機関と連携できる体制があります</p> <p>食物アレルギー児は7名おり、マニュアルに従い医師の指示書で除去食材を毎月の献立表を月末に保護者と面談し確認をしています。申し送りノートには食物アレルギー児は赤字で表記し、誤食のないよう、トレーと食器の色を変えて提供し個別ファイルがあります。熱性けいれん児が多く坐薬預かりは2名で個々の発熱時体温で連絡しており、午睡時はコットの場所を固定し一覧表があります。0歳児は毎月近隣の医師の健診を受けています。園ではケガ時の対応について、保護者との連絡を蜜にし新情報は即時に職員間で情報共有をしています。</p> <p>健康表・SIDS予防や感染症発症時は配信と掲示で情報提供し予防を啓発しています</p> <p>毎月の計測記録は乳児は連絡帳に年間の記録用紙を貼り、幼児は出席シール帳に記入し保護者が確認サインをしており、5月実施の歯科検診の漏れ者はかかり付け医院に行き結果を園に報告しています。午睡チェック表は、0・1歳児は5分毎、2歳児は10分毎、幼児は15分毎に仰向け・呼吸・顔色等のチェックをし担当者のサインをしています。感染症が発症した時は配信と掲示で情報を提供し、玄関・クラスに感染名・発症日時・クラス名・人数等を掲示し、ほけんだよりに前月の欠席状況を掲載し保護者に予防を啓発しています。</p>			

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

運動会・発表会・父母の会等で保護者の交流や共育を通して信頼関係を構築しています

運動会は幼児参加で園庭で実施していますが、子ども達は保育の場であるので日頃の練習の成果が発揮でき、保護者も子ども達との距離が近く、子の成長を実感でき、保護者の前で披露する嬉しさが伝わります。ホールに舞台があり12月16日土曜日の発表会は幼児クラスが入れ替え制で保護者の参加は2名で実施しています。園には父母の会があり各クラスから2~3名代表を選出し年3回実施し、園との連絡や保育士と交流の場を設けており園行事への手伝いは無しです。保護者間で服や玩具を持ちよりサイクルをしてお互い信頼関係を構築しています。

玄関フロアに「今日は何の日」の掲示や絵本コーナーは充実し、貸し出しは好評です

玄関フロアは広く、正面の縦長掲示板に「今日は何の日」で訪問時は2月8日で「ニフトリの日」の掲示が毎日あり、幼児は担任から「何の日」の話に興味・関心を持って聞きます。絵本棚が5つあり、赤ちゃん用の絵本棚や、あいうえお順に絵本が整理され昔ばなしや保護者が子ども時代に読んだ懐かしい絵本も多く、貸し出しノートで記録し一人1冊を借り、返却したらまた借りるルールです。また、お薦め絵本も紹介し「未来の選定」を掲示しています。フロアが広いので、親子でゆったり絵本を選ぶ空間があり良い取り組みです。

保護者会・幼児の一日保育士体験等を通じ子の育ちを保護者と共有しています

全体保護者会を4月8日土曜日に実施し、年間計画・乳・幼児のクラス目標等でクラス別懇談会は5月に実施しており、わらべ歌を披露したり自己紹介・育児の情報交換等を実施しています。2月の保護者会は午睡時間に行い一年の成長を振り返り、写真や動画で伝え資料も配布しています。幼児の一日保育士体験は10年目になり保護者に浸透しており、ほぼ全員参加の実績です。0歳児の保護者には離乳食の試食と合わせ、保護者が子どもに食べさせる体験や父親参加では、一緒に体を動かし遊んでくれるので子ども達も楽しみにしています。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目9の講評

近隣公園・公・私立園の年長児と交流・読み聞かせの活用等の機会があります

散歩で近隣や電車を見に行ったり、幼児は職員数が揃っている時に公園に出かけていますが月に2~3回と少ない様です。コロナ前は、町の小公園の花壇の花植えに参加していました。年長児は今年度近隣の保育園4園が集まり氷鬼・鬼ごっこを提案しルールで手を繋いだり、自己紹介では入学の小学校名を伝える等の交流が持て、次年度も計画的に継続すると良いでしょう。年に数回、ボランティア活動による絵本の読み聞かせがあり乳児・幼児で分かれて参加しています。今後は、老人施設と交流や地域の公立施設の活用を検討すると良いでしょう。

町会と防災訓練・小学校交流・毎月「はるっこ広場」で地域子育て支援を実施しています

毎年、町会の合同避難訓練は公園で放水・煙中・パケツリレー等に年長児が参加や、園の行事に自治会の役員を招待・近隣の小学校へ、年長児は展示会の招待や訪問見学を実施しています。地域子育て支援「はるっこ広場」の実績は6年目になり、4・3月を除く毎月実施しており、年間予定表では、食育相談は6月から離乳食を初期・中期と月で分け実施・園庭開放とわらべうたを同日に実施し、参加者はリピーターもおり定着しています。チラシには園見学実施も情報提供しています。2月に劇団を呼び観劇を鑑賞する予定があります。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル①	毎年収穫の園庭の柚子を近隣にお裾分けし、園は地域に根差し愛されています	
内容①	<p>開園して69年目になる、歴史のある園で庭の柚子の木は園のシンボルです。園では、地域支援「はるっこ広場」で園庭開放や食育相談等を実施しています。毎年沢山の柚子が実り、園児達が柚子を収穫して食育で食材にしたり持ち帰ります。今年度は収穫した柚子を年長児が集め実を選別し3個を袋に入れ、手紙を添えて近隣の方に配りました。後日お礼に、年長児宛にクリスマスカードが届き地域の方と繋がりが出来き、玄関フロアーにカードを掲示しています。園は地域に根ざしており、子ども達が地域に関心を持ち挨拶を交わし地域との交流を広げています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-1	定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している
タイトル②	乳児は子ども一人ひとりに合わせた保育ができるよう、丁寧な個別月案を作成しています	
内容②	<p>乳児に対する個別月案は、子ども姿、養護、教育、環境構成、食育、保育に対する自己評価(養護・教育)の項目で作成しています。乳児期の子どもの成長は個性が高く、その成長を細かく把握して子ども一人ひとりに合わせた保育ができるよう、丁寧な個別月案を作成することにより職員間でもブレることなく保育が行えることを窺い知ることができます。月の振り返りも養護・教育を意識して記載できる書式のため、職員も子どもの様子を養護・教育に照らし合わせて見ていくことが可能となっており、保育の視点を確認することができる有効な取り組みです。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-1-1	利用希望者等に対してサービスの情報を提供している
タイトル③	見学者への対応は常勤職員は皆、対応できるようにしています	
内容③	<p>見学会の日程をホームページで知らせており、毎週土曜日を中心に見学説明会を開催していますが、8月から11月については月2回、平日でも対応しています。見学の際はパンフレットを渡して園内を案内します。その際、保育室内の環境などを伝えるとともに、地震の際、保育室内で安全確保できる場所を示している「あんぜんジャー」の取り組みやホールの利用方法、園庭のことなど当園の特長を伝えています。見学者への対応は常勤職員は皆、対応できるようにしており、特に勤続10年以上の職員が担当するようにしています。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年長児は百人一首を楽しみ、また英語あそびも取り入れ、伝承文化と国際交流に興味・関心を育てており園の特色が見られます
	内容	園では、日本の伝承行事を大事にしており、7年前から年長児はお正月遊びに向け百人一首遊びをします。園長の指導のもと今年度は6月から子ども達が興味を示し取り組みました。室内の壁には、大型の和紙のかかるたに園長が毛筆で仮名遣いの下の句を書き掲示しています。お正月には1枚～4枚札を取れ全員が2枚暗唱できる様になり、日本の伝承文化を遊びの中から学び、書初めは辰の字を漢字・ひらがな・カタカナと文字を選びホールに掲示しました。また国際交流に興味・関心を持ち幼児は月2回外国講師による年間指導計画の基で英語に親しんでいます。
2	タイトル	園庭のゆず・みかんの木やビオトープから自然や季節に触れ、木育では、多摩から取り寄せたヒノキの床等、園内環境で五感を育んでいます
	内容	園庭に繋がる植栽に、柚子の木・みかんの木があり、柚子は毎年実を沢山つけており子ども達と収穫を楽しみます。みかんは収穫し卒園児にプレゼントをします。門扉から玄関に向かう途中に4年目のビオトープがあり、あけびの棚につるがつつわり、毎年トンボのやごが育ち、めだか・金魚を飼育しており子ども達の観察の場所です。子ども達の身近に園庭から自然や季節を体感しています。木育では多摩のヒノキを床に使用し、木の温もりや香りに触れ、玄関には多摩のヒノキとの出会いの掲示があり、園全体が温かい雰囲気になっています。
3	タイトル	「あんぜんジャー」というキャラクターを用いた訓練は、いざという時に子どもが自ら行動できるよう工夫した当園の伝統となっています
	内容	当園独自の取り組みで、「あんぜんジャー」というキャラクターを作成しています。子どもに人気の戦隊ものを用いたキャラクターで、各保育室内にこの「あんぜんジャー」がいます。地震が発生した際、保育室内で一番安全な場所を示しているのが「あんぜんジャー」です。訓練の際も子どもはこの「あんぜんジャー」が示す場所に集まります。この安全な場所も専門家に室内を実際に見ていただき確認できた場所です。いざという時に子どもが自ら行動できるよう工夫した取り組みは当園の伝統となっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	理念・方針へのさらなる理解・浸透に向け、組織的課題の抽出と解決策の可視化による実践行動が期待されます
	内容	園の理念・方針は園舎内の各部屋に掲示され、さらにホームページやパンフレット、保育中期計画並びに毎年の事業計画等を通じて目にする機会、説明を聞く頻度も高い状態が保たれています。一方で、双方の計画とも理念・方針を実現するにあたって課題が何で、解決のために何に取り組むかの手段や方法が可視化されていない為、毎年度何の課題が解決されどこまで前進しているかが曖昧な状態を生み出しています。保育業界・地域、利用者(保護者)、職員が抱えている課題解決に組織的に向き合うことで、さらなる理念・方針への理解・浸透にもつながります。
2	タイトル	理念・方針への全員参画と職員の成長と園の質的成長の連鎖に向けて組織目標と個人目標の連動が期待されます
	内容	組織目標は、起点となる理念・方針が保育中期計画から単年度事業計画へと双方関連性は弱い状態ながらも長期から短期へ、抽象から具体へと可視化されています。人事考課制度では目標評価(目標管理)で各自の個人目標が設定されています。これら組織的な取り組みについて、中期計画では大目標と方向性を年度ごとのゴールとして段階化し、単年度計画では年度のゴールを期間内で達成するための役割・方法等を組織機能ごと(部署や職種等)に可視化、さらに部署目標等を達成するための個人目標へと各自に展開することで、全員参画への風土が醸成されます。
3	タイトル	期ごとの振り返りを記録に残す工夫と、各クラスの月案を共有する機会を持つことが期待されます
	内容	これまでの保育システムから保育アプリに変更したことにより、各計画の様式も変更されています。その中で年間指導計画は年間の評価・反省を記述する欄はありますが、期ごとの評価・反省を記載する欄がないため、期ごとの見直しの記録を残す工夫が必要と推察されます。また、当園は異年齢保育を積極的に取り入れているため、幼児は他のクラスで立案している月案を共有しておくことで、より根拠のある異年齢保育を実践でき、他のクラスの月案を知ることは職員育成にも役立てることができると推察されます。今後の取り組みが期待されます。

